

一般社団法人 岩の力学連合会  
平成 28 年度・第 3 回常任理事会 議事録

日時	平成 28 年 11 月 17 日 14:00～17:20	場所	資源・素材学会会議室
----	-------------------------------	----	------------

常任 理事会	理事長	京谷 孝史	○	副理事長 (賞選考)	青木 智幸	○	幹事長 (総務)	長田 昌彦	○
	常任理事 (国際技術) (地盤)	鈴木健一郎	○	常任理事 (資源・素材)	村田 澄彦	○	常任理事 (土木)	新 孝一	○
	常任理事 (材料)	岸田 潔	●	常任理事 (前幹事長)	坂口 清敏	○			
	常務理事 (RockNet)	安原 英明	●	常務理事 (編集)	清木 隆文	○	常務理事 (電子 J)	島田 英樹	×
	オブザーバ (元・理事長)	清水 則一	×	事務局長	岡部 進	×	事務局	富田明日香	○

敬称略順不同, ○：出席, ×：欠席, ●：スカイプ出席

配 付 資 料

資料番号	資 料
資料 28-常任 3-01	第 2 回常任理事会(8/4)議事録 (案)
資料 28-常任 3-02	第 4 回理事会 (9/21) 議事録 (案)
資料 28-常任 3-03	会員の入退会
資料 28-常任 3-04	H28 年度 編集委員会 事業報告
資料 28-常任 3-05	(別添 1)岩の力学連合会著作権規程 28Apr2016 制定(微修正)(最終稿)
資料 28-常任 3-06	(別添 2)岩の力学連合会著作権に関する内規(最終稿)
資料 28-常任 3-07	国際技術委員会報告
資料 28-常任 3-08	RockNet 委員会 平成 28 年度第 1 回委員会・議事録 (案)
資料 28-常任 3-09	連合会賞授与規則 20161003 賞選考委員会変更案
資料 28-常任 3-10	(参考資料) 連合会賞選考等に関する細則
資料 28-常任 3-11	(参考資料) 選考委員会内規
資料 28-常任 3-12	第 14 回岩の力学国内シンポジウム準備状況 (2016 年 11 月 15 日現在)
資料 28-常任 3-13	第 14 回岩の力学国内シンポジウム予算案 (2016 年 11 月 15 日現在)
資料 28-常任 3-14	Agenda ISRM Asian Council Meeting
資料 28-常任 3-15	AfriRock 2017 Announcement 041116
資料 28-常任 3-16	1st International Workshop on Role of Microorganism and Thermo-Hydro-Chemo-Mechanical Process in Geoenvironment and Geoscience
資料 28-常任 3-17	ILC 研究企画特別委員会 (仮称) の発足について
資料 28-常任 3-18	選挙管理委員会名簿と実施要領案
資料 28-常任 3-19	(当日配布資料) 賞選考委員会報告

理事長挨拶

【議 題】

1. 第 2 回常任理事会 (8/4) 議事録 (案) の承認 (長田) 資料 28-常任 3-01  
原案通り, 承認された。
2. 第 4 回理事会 (9/21) 議事録 (案) の確認 (長田) 資料 28-常任 3-02  
内容を確認した。特に意見なし。
3. 会員の入退会 (長田) 資料 28-常任 3-03  
平成 28 年 9 月 22 日から平成 28 年 11 月 17 日までの入退会状況 (資料の表記を修正) が示され, これを承認した。このなかに, ロシヤメダル応募に伴う学生会員の正会員への種別変更が含まれている。連合会規則第 6 条に基づき, 当人を速やかに名簿登録し ISRM 側に報告することとした。なお, 次年度に向けて博士論文賞に関する記述の中に, この件を付記することを検討いただくこととした。

#### 4. 委員会審議・報告事項

##### 1) 編集委員会（清木）

資料 28-常任 3-04～06

資料 28-常任 3-04 に基づき、活動状況が報告された。特に、岩の力学ニュース No.121 の発行及び常任理事会からの検討依頼事項について説明がなされた。資料 28-常任 3-05 の著作権規程についてはこれを最終版として HP 公開することとした。また資料 28-常任 3-06 の内規の内容を確認した。これらにより、岩の力学ニュースを Web 掲載する仕組みが整ったので、今後その運用方法について検討いただくこととした。

##### 2) 国際技術委員会（鈴木）

資料 28-常任 3-07

資料 28-常任 3-07 に基づき、活動状況が報告された。ISRM の Suggested Method の提案については進めていただくこととしたが、これまでの経緯や審議期間等についての質疑応答があった。若手技術者の海外支援制度については記載の通りである。地盤工学会の DS 提案見送りについては了承したものの、他の組織学会でのセッション立ち上げ等に利用できないかとの意見があった。

##### 3) 電子ジャーナル委員会（島田：代理長田）

報告は特になし。委員会の活動状況が把握できないので、次回常任理事会時には報告いただくよう依頼することとした。

##### 4) Rock Net 委員会（安原）

資料 28-常任 3-08

資料 28-常任 3-08 に基づき、活動状況が報告され、次の 4 つの項目について審議した。

(1) 基準・指針類リストの web 掲載についての提案があり、これを了承した。今後、公開範囲等について検討いただくこととした。

(2) 岩の力学ニュースに掲載している「賛助会員のページ」の web 公開について提案があり、これを了承した。ただし、HP 上で公開するには原稿の 2 次利用に関する承諾を得ておく必要がある。

(3) 過去の国内シンポ原稿の web 掲載について提案があり、これを了承した。執筆者に web 掲載の可否を問う文書を RockNet メール及び岩の力学ニュースに掲載することとした。

(4) 資料共有・保管のためのファイルサーバーの設置については、現行契約をアップグレードして対応することを承認した。年間 21,600 円の支出増となる。

##### 5) 連合会賞選考委員会（青木）

資料 28-常任 3-19

当日配布された資料 28-常任 3-19 に基づき、活動状況が報告された。授与規則の変更については、下記 5 参照。博士論文賞については今年度 1 件の応募があったことが報告されたほか、口頭にて博士論文賞サブワーキングメンバーの紹介があった。その他の連合会賞については、今後の予定が報告された。

#### 5. 連合会賞授与規則の変更について（青木）

資料 28-常任 3-09～11

現状の運用に合わせて授与規則を変更する必要がある。具体的には、第 5 条 3 項の「岩の力学連合会の正会員の中から」の箇所を削除するほか、一部文言を修正する。本件は理事会（書面会議）に諮ることとした。また細則（資料 28-常任 3-10）及び内規（資料 28-常任 3-11）の修正内容を確認した。

#### 6. 岩の力学国内シンポジウムの準備状況（岸田）

資料 28-常任 3-12～13

資料 28-常任 3-12 に基づき、準備状況が報告された。基調講演の確定、発表件数の概要、展示方法、予算状況と外部資金の獲得（資料 28-常任 3-13 参照）についてなどである。新たに採用した「バーチャル技術展示」については、申込者がどのようなデータを送ると、どのように表現されるのかがわかるような例題を示すことが依頼された。準備は整っているため、早めに公開して情報を共有することとした。

なお、博士論文賞受賞者の講演や若手研究者会議に参加する海外参加者の国内シンポでの講演については全体の時間枠の関係で難しいとのコメントがあった。

#### 7. 第 3 回岩の力学に関する若手研究者会議の準備状況（安原）

口頭にて説明があった。概ね予定通りに進捗しており、参加者数は 30 名程度となる見込みである。

#### 8. ISRM 関連

##### 1) アジア・カウンシル会議についての報告（長田）

資料 28-常任 3-14

三役の搭乗予定であった飛行機が遅延したために会議に間に合わなかったことが報告された。なお、会議では審議案件はなく、報告事項のみであった。

##### 2) 次回 ISRM カウンシル会議 AfriRock2017 2017 年 10 月 1～7 日

資料 28-常任 3-15

上記の日程で開催予定のため、次期体制へ参加検討いただくこととした。

#### 9. 琉大で開催する国際ワークショップについて（京谷）

資料 28-常任 3-16

琉球大学アイダン教授から打診のあった 2017 年 3 月 20 日（月、休日）琉球大学開催の標記ワークショップについて、連合会としては協力する方向で検討することとした。協力方法は共催/後援のどちらを

希望するのか、またワークショップ前後における東京・京都での講演については日程や講演者数も含めて、詳細を詰める必要がある。東京・京都での講演については組織学会との連携を図りつつ進める。その場合の費用については、国内シンポジウムで海外招聘者用に計上していた謝金を当てるのが適当であるとの意見があった。以上について、京谷理事長からアイダン教授に確認いただくこととした。

10. ILC 研究企画特別委員会（仮称）の発足について（京谷） 資料 28-常任 3-17

資料 28-常任 3-17 に基づき、標記委員会の趣意と委員会構成ならびに活動内容が説明された。委員会は理事長下の特別委員会として組織し、3 年間で 1 つの目処として活動することを了承した。次年度以降、年 10 万円程度を創造的提案推進事業基金から支出することを検討することとした。

11. 選挙管理委員会の設置と実施要領案（長田） 資料 28-常任 3-18

資料 28-常任 3-18 の通り、各組織団体から委員が推薦されたことが報告され、この 5 名で選挙管理委員会を構成することとした（が、常任理事会後に正会員歴を確認したところ、地盤工学会推薦の委員が条件を満たしていないことが判明したため、再度推薦を頂くことにした）。

今後の実施日程案が示された。概ね提案の選挙日程で実施していただくように、選挙管理委員会に引き継ぐこととした。

12. 次期体制について（長田）

次期三役及び各委員長候補について、現時点での情報を共有した。全体としてのバランスを取りつつ、今後名前の挙がった方に打診していただくこととした。

13. その他

- 1) 岸田理事より、将来構想委員会で取りまとめた方がいい今後の国際シンポジウムの誘致について現在の体制のもとで、計画的に検討すべきとの意見があった。

14. 今後の予定

1 月に常任理事会を追加開催することとした。今後の日程は次の通りである。

- 1) 第 4 回常任理事会：平成 29 年 1 月 26 日(木) 14:00～17:00
- 2) 第 4 回理事会：平成 29 年 3 月 16 日(木) 14:00～17:00
- 3) 平成 29 年度第 1 回常任理事会：平成 29 年 5 月 日( ) : ~ :
- 4) 平成 29 年度第 1 回理事会（書面会議）：平成 29 年 5 月 日( ) : ~ :

以上